

国語科（国語総合）学習指導案

日 時：平成 28 年 11 月 2 日 6 時間目

場 所：松陽高校音楽科 1 年 7 組教室

（男子 4 人女子 26 人計 30 人）

科 目：国語総合（5 単位）

授業者：岡留 幸恵

- 1 単元名 昔話を経済学の視点で読み解く～わらしべ長者はラッキーなのか～
- 2 教材名 『『わらしべ長者』の経済学』（数研出版「高等学校国語総合」）
- 3 生徒の実態と単元設定の理由

高校生活も 7 ヶ月を過ぎ、多くの生徒が高校生としての生活習慣や学習習慣を確立している一方で、学力差が顕著に現れはじめ、学習意欲が下がりつつある生徒も少数いる状況である。授業に対する取り組みは良好で、積極的に学習活動に取り組む姿勢が見られる。

評論に対して苦手意識を持っている生徒は多いが、普通科・美術科に比べ、特に音楽科ではその傾向が強い。一方で、音楽科の生徒は感性が豊かであり小説教材には意欲的に取り組む生徒が多いように感じる。

本教材は身近な昔話を経済学の視点で解釈したものであり、また、経済学は人間の幸福に寄与するものであるという筆者の基本的姿勢を理解することで、評論や経済学といった生徒が敬遠しがちな分野に少しでも興味・関心を持たせたいと考える。様々なものの見方、考え方に触れ、生徒の内的世界を広げることを目的とし、本単元を設定した。

- 4 育成を目指す言語能力

昔話を経済学の視点で解釈した文章を読み、筆者の意図を捉え、ものの見方・考え方を豊かにする。

（国語総合 C 読むこと 指導事項エ・オ）

- 5 単元目標

ア 教材の読み取りを通してものの見方、考え方を豊かにしようとしている。

（関心・意欲・態度）

イ 教材の読み取りを通してものの見方、考え方を豊かにしている。

（読む能力）

ウ 一般論との対比を効果的に用いた文章展開を理解している。

（知識・理解）

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
教材の読み取りを通してものの見方・考え方を豊かにしようとしている。	①昔話を経済学の視点で解釈した筆者の意図を理解している。 ②童話「人魚姫」を経済学の視点で読み取ることを通して、ものの見方・考え方を豊かにしている。	一般論との対比を効果的に用いた文章展開を理解している。

7 取り上げる言語活動

昔話や童話作品の主人公の行動を、経済学的な視点から説明する。
(国語総合 C読むこと 言語活動例エ)

8 単元の指導計画 (全6時間)

時	過程	学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	導入	1 学習課題を設定する。 2 本文を通読し、大意を捉える。		
2	展開1	1 第1段落を読み、内容を理解する。 2 「わらしべ長者」の「男」がした経済学的価値の創造についてまとめる。	知識・理解 読む能力①	行動の観察 記述の確認
3 4	展開2	1 第2段落を読み、内容を理解する。 2 「わらしべ長者」の「男」は重要な経済活動の結果、富を得たという筆者の論理を理解する。	知識・理解 読む能力①	行動の観察 記述の確認
5	展開3	1 第3段落を読み、内容を理解する。 2 ブータンの話の「男」が得た利益について考える。	知識・理解 読む能力①	行動の観察 記述の確認
6	まとめ	1 「経済学の視点」を再度確認する。 2 童話「人魚姫」を経済学の視点で解釈する。	読む能力② 関心・意欲・態度	記述の分析 行動の観察

9 本時の実際 (6 / 6)

(1) 本時の目標

・ 童話「人魚姫」を経済学の視点で解釈してみよう。

(2) 本時の評価規準

- ・ 教材の読み取りを通してものの見方、考え方を豊かにしようとしている。
(関心・意欲・態度)
- ・ 経済学の視点で童話「人魚姫」を解釈することを通して、ものの見方・考え方を豊かにしている。
(読む能力②)

(3) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入	5	・ 前時までの学習を振り返り、本時の目標と流れを確認する。	・ 本時の目標を板書する。 ・ 「人魚姫」のあらすじを確認する。 ・ 本時の学習活動の流れを説明し、見通しを持たせる。	
展開1	10	・ 「経済学の視点」について確認する。 個人 → ペア → 個人	・ 「自発的交換による経済学的価値の創造」について振り返らせる。 ・ 「わらしべ長者」の男が行った経済活動について振り返らせる。	行動の観察
展開2	30	・ 童話「人魚姫」を経済学の視点で解釈してみる。 個人 ↓ グループ活動 ↓ 個人	・ 「人魚姫」が「交換」と「リスク」の観点で経済学と結びつくことを理解させる。 ・ 「人魚姫」は悲話であるという一般的な見方に対し、経済学の視点で解釈した場合どのように考えるかまとめさせる。	行動の観察 記述の分析
終末	5	・ 単元を振り返り、筆者の主張を再度確認する。	・ 視点を変えてみることで、自分自身のものの見方・考え方が深まったか振り返らせる。	記述の分析